

Development of the Career Anchors Scale among Occupational Health Nurses in Japan

久保, 善子

<https://doi.org/10.15017/1785358>

出版情報 : 九州大学, 2016, 博士 (看護学), 課程博士
バージョン :
権利関係 : 全文ファイル公表済

氏名	久保 善子
論文名	Development of the Career Anchors Scale among Occupational Health Nurses in Japan (産業看護職のキャリアアンカー尺度の開発)
論文調査委員	主査 九州大学 教授 中尾 久子 副査 九州大学 教授 加来 恒壽 副査 九州大学 教授 藤田 君支

論文審査の結果の要旨

産業社会の変化に伴い、職業関連だけでなく生活習慣病予防など、産業看護職の役割や業務が拡大している。産業看護職の背景や環境は多様でキャリア形成が難しいことが報告されているが、これまで産業看護職のキャリア形成に関する先行研究は見当たらない。本研究は、産業看護職のキャリア支援の一助として、産業看護職自身のキャリアを内省できるキャリアアンカー尺度（Career Anchors Scale：以下CAS）の開発を行い、その信頼性・妥当性の検証を行った。CASの開発は、3段階のプロセスを経ている。第1段階では、産業看護職16名に質的記述的研究法を用い、キャリアアンカーの抽出を行った。第2段階では、第1段階で抽出されたキャリアアンカーの内容の適切性、尺度開発に用いるスケールの適切性について調査した。第3段階では、産業看護職745名に郵送法による自記式質問紙調査を行い、CAS尺度の信頼性・妥当性を検討した。キャリアアンカー尺度（39項目）を因子選定条件に従って検討した結果、6因子を採用した。累積寄与率は62.62%であった。6因子は「立場を考慮し、専門性を発揮する」「効果的な活動に向けたマネジメントを行う」「集団・組織全体の健康レベルの向上を目指す」「労働者に応じた支援を行う」「産業保健チームや関係者と協力して仕事を行う」「仕事と私生活を両立する」と命名した。産業看護職のキャリアアンカー尺度全体の信頼係数は、折半法の信頼係数は0.85、Cronbach's α 係数は0.95で、内的整合性が確認された。併存妥当性の検討では、既存の尺度と6因子との相関係数は0.2～0.4の範囲であった。既知集団妥当性では、第1,2,3因子は管理職が一般職よりもキャリアアンカー得点が高く、第4,5,6因子では保健師の資格の有無によって得点に差があり、併存妥当性及び既知集団妥当性における今後の検討が必要である。

以上より、CAS尺度は、産業看護職のキャリアアンカーを測定する尺度として、一定の信頼性と妥当性があることが示された。本尺度は、産業看護職の自己分析ツール、組織の産業看護職のキャリアアンカーを見極めた人員配置や研修等に用いることができ、この尺度開発の意義は高い。

審査を行い、研究の位置づけ、関連する研究、研究に関する考察を確認し、概ね適切な回答を得たので、主査および副査の協議を行い、本論文が博士（看護学）の学位に十分に値するものと認めた。